

## 〔高等学校教育課〕

### 1 学習指導法現代化研究協議会

#### (1) 目的

教科の特性をふまえ、能力、適性の多様な生徒ひとりひとりに対応できる学習指導のあり方について研究する。

#### (2) 研究主題

「学習指導の個別化を図るにはどうしたらよいか」

#### (3) 実施地区 期日、会場、該当教科

実施地区	期日	会場	該当教科
県中	11月13日(月)	安積女子高等学校	社会・理科
会津	11月14日(火)	喜多方女子高等学校	音楽・家庭
いわき・相双	11月28日(火)	原町高等学校	国語・数学

#### (4) 日程・内容

教科別分科会 9:00～12:30 研究授業・授業研究  
全体会 13:30～15:30 講演

#### (5) 研究授業対象科目及び授業実施者

社会	世界史	2年	県立安積女子高等学校	教諭	赤塚 公生
理科	化学	1年			〃
音楽	音楽Ⅲ	3年	県立喜多方女子高等学校	〃	五十嵐康雄
家庭	家庭一般	2年		〃	加藤トキ子
国語	古典1乙(漢文)	1年	県立原町高等学校	〃	遠藤 時夫
数学	数学ⅡB	2年		〃	佐々木克己

#### (6) 参加人数

社会 29人 理科 33人 音楽 15人 家庭 22人  
国語 30人 数学 30人 計 144人

#### (7) 講師

- ◎ 千葉大学教育学部教授  
井上 弘(安女・喜女会場)
- ◎ 郡山女子大学教授  
長谷川 寿郎(原町会場)
- ◎ 高等学校教育課各教科担当指導主事

## 2 各種研究指定校

### (1) 文部省指定

#### ① 研究開発学校

- 学校名 福島県立相馬女子高等学校
- 指定期間 昭和51年度から54年度までの4か年間
- 研究主題 高等学校において、生徒の多様な能力・適性、進路志望等に対応した学習を図るため、単位制の徹底と、履修方法の弾力化を可能にする教育課程の研究開発。

#### ② 高等学校生徒指導研究推進校

- 学校名 福島県立磐城農業高等学校
- 研究期間 昭和52・53年度の2か年間
- 研究主題 基本的行動様式を確立させるための指

### 導の展開

無気力、無関心な生徒や問題行動に走りやすい傾向に対し、学校生活に親しみを持たせ、学習意欲を高める指導はどのようにしたらよいか。

### (2) 福島県教育委員会指定

#### ① 目的

県立学校における教科の学習指導、生徒指導に関する実践的な研究を行い、その成果をひろく県内各県立学校等に普及させ、本県県立学校における教育活動の充実に資することを目的とする。

研究分野	学校名	研究主題	研究期間
全教科	福島県立田村高等学校	授業の効率を高めるためのくふう ——特に学習意欲向上のための指導法——	52～53年度
生徒指導	福島県立福島高等学校	非社会的傾向にある生徒の指導	52～53年度

## 〔養護教育室〕

### 1 研究指定校

#### (1) 文部省指定

- 学校名 福島県立須賀川養護学校
- 指定期間 昭和53年度・昭和54年度の2か年間
- 研究主題

「病弱児(重心児を含む)の障害及び能力に応じた言語の指導内容・方法に関する研究」

## 第5節 道徳教育・生徒指導

### 1 道徳教育

各学校並びに関係機関の努力によって、学校の全教育活動を通して行われる道徳教育及び道徳の時間の指導の充実のため、指導計画等の整備が進められている。

また、文部省指定道徳教育協同研究校の2年間にわたる研究も一応終了し、それぞれ研究発表会がもたれた。

#### (1) 小学校教育研究会道徳部会

##### ① 研究主題

「内面化をはかる授業をどう展開したらよいか」  
——道徳の実践力の育成をめざして——

##### ② 主催

福島県教育委員会、福島県小学校教育研究会  
関係市町村教育委員会

##### ③ 会場

地区 各地区ごとに設定(16会場)  
県 喜多方市立熊倉小学校

##### ④ 期日

地区 各地区ごとに実施  
県 昭和53年10月4日～5日